ば。すると、そのお客さまが別のおす

さまにおすそ分けすることもしばし

そ分けを持ってきてくださるというこ ともあります。わが家ではこれを「わ

しませんよ!

先日、実家の鳥取へ車で帰省しまし

全てなくなってしまっいのか。

気持ちを分かって<br />
ぐれな

発電などのそうちや機械 そうかといって、じか 大切にしていくべきだと

思います。

OTNO-WUDDYN 〉午前川胡~午 で受け付けてい

始めました。この地はまさに自然の恵 の農産物直売所「太郎の四季」に並び キャベツ…。おいしい夏野菜が矢祭町 ナス、キュウリ、トマト、 インゲン、

ちろん加工品もおいしく、地元のおミ みの宝庫。お水はもとより野菜、お米、 など数え上げたら切りがないほど。も ユズ、シイタケ、イチゴ、アユ、お花

産物を都内で販売する「もったいな ざ来町される方も多いです。矢祭の農 ソ、お酒などを求めて遠くからわざわ 」も好評なようです。

まれていた、なんてこともありました。 ると、ゴーヤーが玄関にうずたかく積 です。お店の定休日に外出して夕方見 ビックリしたのは、おすそ分けの多さ がたとうとしていますが、最初の頃に おすそ分けを、ご来店いただいたお客 豕内と二人暮らしなので食べきれない さて、私が矢祭町へ越してきて八年

> 通点は、おすそ分けを頂くことが多い 銭湯経営者の方が「喫茶店と銭湯の共 ありがたいことです。先日知り合った も一度や二度ではありません。本当に 食材が全ておすそ分けの物だったこと らしべ長者」と呼んでいます。食卓の の全ての食材を女将(おかみ)さんが 肉はもちろん、調味料に至るまで。そ 泊まったのですが、そこで出てきたお 野の妻籠(つまご)へ立ち寄り旅館に 料理がすべて地元産。お米、野菜、お た。片道一千さもあるので、途中で長



## わらしべ長者

長谷川

と断られるそうです。なんとまあもっ 聞かれ、産地が福島だと「いらない」 おすそ分けでさえ「どこの産地?」と 密着型のお店はこういう恩恵があるん ミソは誰々さんが作ったのに当家でさ こと」とおっしゃっていました。地域 誇らしげに説明してくれました。この だな~と思った次第です。 先日の新聞によると、都会では最近、 この感覚はどこかで味わったなと思い と思い出しました。これまでにガテマ るんだな~、としみじみと思いました。 返してみると、そうだコーヒー農園だ らに味を付けて…。 この地を愛してい

> んなどはコーヒー業界では有名な方 す。パナマのベルリナ農園のマリアさ う止まりません。女性の農園主もいま ーヒー農園主に農園を語らせたら、も を持ち、愛している」ということ。コ じるのは「この地、自分の農園に誇り かしたほどです。 これまでダントツ一位だった農園を負 ヒー農園を訪れましたが、共通して感 シア、パナマ、エルサルバドルのコー で、今年の国内のコーヒー品評会で、 矢祭町に目を向けてみると、こだわ

た、私の大好きな矢祭のお米も無事に したら止まらないようです。心配され りの農家さんの多いこと! それぞれ 家言あるようで、これもまた話し出

田植えをでき、秋の収穫を待つばかり

できないかと、現在奔走中! です。こうした方々の奮闘ぶりを紹介 のひと言が頑張れるパワーの源のよう です。当店も同じですが「おいしい!」

たいない! 安全な物しかおすそ分け ラ、コスタリカ、ブラジル、インドネ (矢祭町小田川、珈琲香坊店主)